

記者懇談会「酒田港の今、これから」を開催しました

国土交通省東北地方整備局港湾空港部では、3月11日（土）で東日本大震災から丸6年を迎えるにあたり、これまでの港湾の復旧・復興の取り組みや、各港で現れ始めている復興・創生の状況や動向等について、ホームページで情報発信しています。

これにあわせ、酒田港湾事務所では、3月10日（金）に記者懇談会『酒田港の今、これから』を開催しました。上原所長が、①地域の産業と暮らしを支える酒田港、②エネルギー産業の拠点としての酒田港、③クルーズ船寄港による地域の活性化、④地域の賑わい創出に向けた取り組み他、⑤国土交通省酒田港湾事務所の事業の5つのテーマで話題を提供し、その後、意見交換を行いました。概要は以下のとおりです。

○貨物量を増やすために一番大事なものは企業立地。あとは特にコンテナ貨物について、県内荷主が酒田港を利用してくれることが重要。

○風力発電は非常に部品数が多いため、自動車産業同様裾野が広く、産業や雇用への波及効果が大きいと言われている。洋上風力発電におけるメンテナンスの必要性も含め、「産業」として見た時のポテンシャルにも着目すべき。また洋上風力発電施設建設・維持のための部品積出拠点港になると、港の利用も拡大する。

○今後、日本に寄港するクルーズ船が増える中で、寄港地が、これまでの西日本中心から、より東に拡大する可能性もある。酒田港沖を通過している外国船籍のクルーズ船ルートはいくつかある。特に日本発着のクルーズ船を中心に、酒田港寄港に向け、積極的にセールスを行っていく。



上原所長と記者との意見交換



国土交通省 東北地方整備局 酒田港湾事務所
〒998-0061 山形県酒田市光ヶ丘5丁目20番17号
TEL : 0234-33-6311 (代表)
URL : <http://www.pa.thr.mlit.go.jp/sakata/>